

○ WEB サイト「にっぽん伝統食図鑑」を開設しました

農林水産省は、各地域で選定された伝統的な加工食品を紹介する Web サイト「にっぽん伝統食図鑑」を開設しました。伝統食の特徴、歴史、地域における保護・継承の取組やアレンジレシピ等についてデータベース化しています。ぜひ、この図鑑で伝統食の魅力を再発見し、ご家庭での調理、外食企業でのメニュー化・商品開発、海外への発信・普及などにご利用ください。

※詳しくは、以下の URL から農林水産省ホームページをご覧ください。

⇒ <https://traditional-foods.maff.go.jp/>

○ 国産農林水産物消費拡大に関する動画広告の配信について

国産食材の魅力に気づき、食や食を支える農業・農村について改めて考えてもらいたいという想いを込めて動画を作成しました。

ぜひご覧ください。

※詳しくは、以下の URL から農林水産省ホームページをご覧ください。

⇒ <http://www.maff.go.jp/j/basiclaw/index.html#movie>

○ 第 19 回食育推進全国大会の開催地の決定について

農林水産省は、毎年 6 月の「食育月間」に関連する取組の一層の充実を図るため、令和 6 年度の全国的な取組として、第 19 回食育推進全国大会を大阪府との共催により開催することとしました。

令和 5 年度の第 18 回大会は、富山県で令和 5 年 6 月 24 日（土曜日）～25 日（日曜日）に、富山産業展示館（テクノホール）他で開催されます。

※詳しくは、以下の URL から農林水産省ホームページをご覧ください。

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/230215.html>

○ 「令和 4 年度 地産地消コーディネーター派遣事業報告会」参加者募集のお知らせ！

学校給食を含む施設給食において地産地消を進めるには、給食事業者側と生産者側との間で規格や価格等の調整する地産地消コーディネーターの役割が重要です。

今年度コーディネーターを派遣した地域の報告会を開催いたしますので、ぜひともご参加ください。参加希望の方は以下の URL 内の応募フォームより申し込みください。

※詳細は、以下の URL からご覧ください。

⇒ https://www.kouryu.or.jp/information/20230210_2940/（外部リンク）

○ 「つなぐ棚田遺産」感謝状贈呈企業等が選定されました！

農林水産省は、2 月 2 日（木曜日）に開催された「令和 4 年度第 2 回「つなぐ棚田遺産」委員会」において、「つなぐ棚田遺産」感謝状贈呈企業が選定されましたのでお知らせします。なお、感謝状贈呈式は 3 月 9 日（木曜日）にオンラインで行います。

※詳細は、以下の URL から農林水産省ホームページをご覧ください。

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nihon/230202.html>

○ 農林水産省と JAL の連携プロジェクトをスタート！

農林水産省は、食と農のつながりの深化に着目した国民運動「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」を展開しています。この度、本運動による官民協働の取組の一環として、JAL（日本航空）と連携し、「ミステリーカレーツアー『華麗にマイル！』」と題して、身近な「カレー」を題材に食材の生産地を訪ね農の現場に触れるミステリーツアーを企画し、本ツアーのコンセプトムービーを、2月7日（火曜日）からニッポンフードシフト公式 WEB サイトで公開します。

※詳細は、以下の URL から農林水産省ホームページをご覧ください。

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/230207.html>

○ 令和 4 年度「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」受賞者の決定及び表彰式の開催について

農林水産省は、「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」について、令和 4 年度の農林水産大臣賞ほか各賞の受賞者を決定したので、お知らせします。

なお、令和 5 年 3 月 6 日（月曜日）に農林水産省 7 階講堂において、本コンクールの表彰式を行います。表彰式は公開で、現地参加（30 名程度）、オンライン参加を予定しています。

※詳細は、以下の URL から農林水産省ホームページをご覧ください。

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kankyo/230217.html>

○ JFOODO シンポジウム 日本のおいしい！を世界へ 一食の輸出とインバウンドが紡ぐ “ネクストマーケット”

【日 時】：2023 年 3 月 17 日（金）14:00～16:00

【場 所】：ジェトロ東京本部 5 階展示場（東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル）

※オンライン参加でお申込み頂いた方には、視聴用 URL を前日までに送付します。

【開催形式】：現地開催と WEB 配信を併用したハイブリッド形式（事前登録制）

【内 容】：（1）基調講演「海外での需要創出に向けた取組/JFOODO プロモーション活用事例の紹介」

（2）パネルディスカッション「アフターコロナの海外プロモーションとインバウンド需要喚起」

【参加費】：無料

【会場定員】：50 名（先着順）

※定員に達し次第締め切らせていただきます。定員超過によりご参加いただけない方のみ、その旨連絡いたします。

※WEB 配信については、定員はございません。

※都合によりプログラム内容等変更が生じる可能性があります。予めご了承ください。

【申込方法】：下記 URL にアクセスいただき、必要事項をご入力の上お申込ください。

⇒ <https://www.jetro.go.jp/customer/act?actId=B0062489F>

※今回初めてご参加される方は、上記 URL の「お客様登録する（無料）」より入力を進めて

いただきますようお願いいたします。

【申込期日】：3月16日（木）17:00

【お問い合わせ先】：

日本食品海外プロモーションセンター（JFOODO）

海外プロモーション企画課

担当：鈴木、友田、宮内

電話：03-3582-8344 メール：JFA@jetro.go.jp

⇒ <https://www.jetro.go.jp/jfoodo/>

○ 「みどりの食料システム戦略」について

農林水産省は、SDGs や環境を重視する国内外の動きが加速していくと見込まれる中、持続可能な食料システムを構築するため、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定しました。

※詳しくは、以下の URL から農林水産省ホームページをご覧ください。

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/index.html>

○ 新型コロナウイルス感染症対策情報について

新型コロナウイルス感染症に関する対策やお願いについて、農林水産省ホームページへまとめています。

※詳しくは、以下の URL から農林水産省ホームページをご覧ください。

⇒ https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/index.html

○ 九州農政局「消費者の部屋」特別展示について

九州農政局「消費者の部屋」では、食料・農業・農村に関する各種施策情報の提供や普及啓発を行っています。3月は、以下のテーマの特別展示を行います。

【展示期間】

○3月6日～3月17日 農山漁村女性の日（3/10）について

3月10日は農山漁村女性の日です。関連行事、農業女子プロジェクト、現地調査の事例について紹介します。

○3月20日～3月31日 ICT を活用した効率的な鳥獣捕獲とジビエ（野生鳥獣肉）の活用について

最新の鳥獣対策として、ICT機器の展示や複合電気柵等を展示するほか、ジビエ利活用の事例等をパネルで紹介します。

【展示場所】

熊本地方合同庁舎 A 棟 1 階 消費者の部屋

フードパル熊本「熊本市食品交流会館」（熊本市北区貢町 581-2）

※詳しくは、以下の URL から九州農政局ホームページ「消費者の部屋」をご覧ください

⇒

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/syohianzen/syokunoanzenansin/syohisya/syohisya.html>

【2】食育イベントのご案内（3月以降の特徴的な取組から）

※新型コロナウイルスの影響で、中止または延期、施設休館などの場合がありますのでご注意ください。

◇福岡市で「旬の野菜料理教室」などの各種料理教室を開催

◇佐賀県嬉野市で「うれしの茶の魅力発信」（常時）

◇長崎県松浦市・平戸市で「ほんなもん（ほんもの）体験」を開催（随時）

◇熊本県宇城市で「食と農の体験塾」を開催（随時）

◇大分市で「3歳からできる！ドライカレー作り」を開催（毎月第三金曜日）

◇宮崎県都城市で「プロから学ぶお魚教室」を開催（3月15日）

◇鹿児島県霧島市で「第18回「霧島・食の文化祭」開催（3月12日）

※詳しくは、以下のURLから九州農政局ホームページをご覧ください。

⇒ <http://www.maff.go.jp/kyusyu/syohianzen/hiroba/island/event/event.html>

【3】食育一ロメ

○ 数字で学ぶ「日本の食料」

日本の食糧事情は、社会情勢や生活環境から大きな影響を受けています。

そうした変化を受けて、農林水産省では食に関するさまざまなデータを蓄積し、配信してきました。

日本人の食生活、60年の変化「60年間で何がどのように変化してきたのか？」

日本では、高度経済成長期以降、食生活が大きく変わりました。

具体的には、米や魚、野菜が中心の日本型食生活から、肉や油を使った料理が好まれるようになりました。

その結果、米の一人当たり年間消費量は、1962年度の118.3キログラムをピークに減少に転じました。1965年度にはすでに下降し始めていて、2021年度には1人当たり年間消費量も約51キログラムまで減りました。一方で、肉類の1人当たり年間消費量は約3.8倍、油脂類も倍増しています。

※詳しくは、以下のURLから農林水産省ホームページ/「aff（あふ）2023年2月号」をご覧ください。

⇒ https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2302/spe1_01.html

【4】編集部からのお知らせ

○ 「九州の食育のひろば」に関する情報提供及び情報更新ご協力をお願い

九州農政局ホームページ「九州の食育のひろば」では、九州各地で開催される食育イベント、親子料理講座、伝統料理講座、農林漁業体験講座、見学可能な食品工場、市場等についてご紹介させていただいていますので、是非、参加風景や感想、今後のイベントの情報など、あわせて情報のご提供をお待ちしています。

また、「食の体験・食育マップ（全県）」では、ネットワーク「食育アイランド九州」参加者の方々の情報発信を行っています。内容につきまして、更新・削除を希望される場合は、下記の九州農政局「九州の食育のひろば」の窓口・問い合わせ先、または、E-mail アドレスまでお知らせいただきますようお願いいたします。

⇒ <http://www.maff.go.jp/kyusyu/syohianzen/hiroba/hiroba.html>

【編集後記】

E-mail s-island-kyushu@maff.go.jp